

新型コロナで世界の企業がそろって減益の中、日本電産は66%の増益を達成

新型コロナウイルスの世界的流行の影響を受けて原油価格の大暴落が起こっているが、この暴落が起こる前から自動車にはガソリンから電気への流れがあり、日本電産はこの流れを見事にとらえた。記事のタイトルにもEV（電気自動車）用駆動モーターが増益に寄与しているとのある。

小さなモーターから大きなモーターまでの技術を極め、さらにその技術を伸ばしていく企業には強い競争力と社会からの信頼がある。

次ページにモーター專業である日本電産とマブチモーターの比較を示している。日本電産はマブチモーターと比較して大型モーターをそろえていること、広く産業全般に販売網を広げていることに特色がある。マブチモーターは、自動車用小型モーターが主製品となっている。

会社四季報によると、この3月期に日本電産が反発とあるのに対し、マブチモーターは昨年12月期に減額となっている。ただし、この会社四季報ではマブチモーターのこの3月期の四半期決算はまだ報告されていない。

日本経済新聞 2020.5.1

日電産EV軸に66%増益

日本電産は30日、2021年3月期の連結純利益（国際会計基準）が前期比66%増の1000億円になる見通しだと発表。電気自動車（EV）関連やハードディスク駆動装置（HDD）用モーターの受注が旺盛なため、今後は低速する車載部品の回復などが課題となりそうだ。

売上高は2%減の1兆5000億円を見込む。これまで目標に掲げていた21年3月期の売上高2兆円の達成は数年先にずれ込みそうだ。純利益は市場予想平均（1998億円）を下回る。

だが今期予想を公表しない企業が多い中、日電産が明示した大幅な増益予想は「強気」な判断にみえる。永守重信会長兼

今期最終、モーター受注旺盛

日本電産の業績推移

期	売上高 (左軸)	純利益 (右軸)
17/3	17,000	10,000
18/3	18,000	11,000
19/3	19,000	12,000
20/3	20,000	13,000
21/3(予)	32,000	30,000

永守氏、コロナ「1年は続く」

最高経営責任者（CEO）に達した。永守氏は1月には新型コロナウイルスの決算説明会で「1000億円の売上高は1兆円に近づいた」とも1年は続くとした上で、「影響が長引けば競争相手のあるところが生き残る」と強調した。

また、在宅勤務や電子強気の判断を支える理由の一つが、今期から大々的にデータセンタ格的に収益に貢献し始めるV用駆動小型モーターが伸びる点だ。26年3月期までの受注は1600万台の増加から回復できて

「5G」関連やハードディスク駆動装置（HDD）用モーターの受注が旺盛なため、今後は低速する車載部品の回復などが課題となりそうだ。

今後の課題は自動車メーカへの減産などで落ち込みが続く車載部品の回復だ。EV用駆動モーターは好調なもの、20年4～6月期の車載分野の売上高は通常の6割程度となる見通しだ。固定費の削減や部品供給の内製化でコスト削減を進める考えで、こうした取り組みを軌道に乗せられるかにも注目が集まる。

同日発表された20年3月期の連結決算は、売上高5348億円、過去最高となつた。純利益は15%増の600億円だった。欧米などでは操業度が感度大の6～7割の水準に落ち込んでいる。欧州当局から条件とされた一部事業の売却による損失197億円を計上し、約70億円増の140億円、開発投資もEV用駆動モーターなどで約60億円増の850億円を計画。営業利益は13%増の1250億円になる見通しだ。現金・現金同等物の残高は20年3月期末で2069億円、前期末から352億円減少した。永守氏は中長期のM&A（合併・買収）は否定しなかったものの「キャッシュ・イース・キ」(現金は王様。無駄なところには金を使わない)と投資先は慎重に考えて、こうした取り組みを軌道に乗せられるかにも注目が集まる。

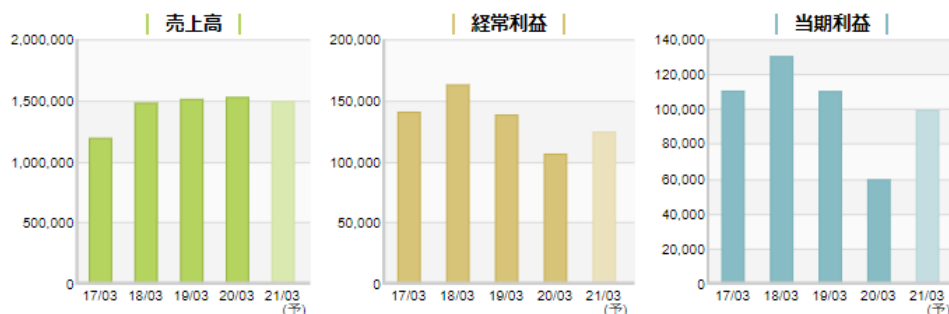
同日発表された20年3月期の連結決算は、売上高5348億円、過去最高となつた。純利益は15%増の600億円だった。欧米などでは操業度が感度大の6～7割の水準に落ち込んでいる。欧州当局から条件とされた一部事業の売却による損失197億円を計上し、約70億円増の140億円、開発投資もEV用駆動モーターなどで約60億円増の850億円を計画。営業利益は13%増の1250億円になる見通しだ。現金・現金同等物の残高は20年3月期末で2069億円、前期末から352億円減少した。永守氏は中長期のM&A（合併・買収）は否定しなかったものの「キャッシュ・イース・キ」(現金は王様。無駄なところには金を使わない)と投資先は慎重に考えて、こうした取り組みを軌道に乗せられるかにも注目が集まる。

日本電産 会社四季報

特色	世界首位のHDD用など精密小型モーターから車載、産業用など中大型にシフト。買収積極的
連結事業	精密小型モーター29(12)、車載20(11)、家電・商業・産業用35(8)、機器装置11(14)、電子・光学部品5(6)、他0(10)【海外】86 <19・3>
反 発	モーターは家電向けが冷却装置などで堅調。ただ、車載は自動車販売台数減響く。新型肺炎影響もあり、一転減益。21年3月期は上期に新型肺炎や自動車販売の落ち込みで車載苦戦。ただ産業向け復調。5G向け冷却装置も堅調増で営業益反発。
車載加速	4月に日産出身の関潤氏へ社長交代、車載の成長加速図る。超低電圧ドライブを開発する米企業を19年12月買収。

日本電産(6594)

売上高・経常利益・当期利益の推移



マブチモーター 会社四季報

特色	車載用軸に小型モーター世界シェア5割以上。中国、ベトナムなど全量海外生産。音響縮小傾向
連結事業	小型モーター自動車電装機器74、同民生・業務機器26【海外】89 <19・12>
減 額	民生用モーターは好採算の高級家電向けの割合増だが数量減補えず。車載向けも上期は新型肺炎の影響による完成車メーカーの生産調整が痛い。下期も新車販売台数減少を受け低調。会社計画は過大。
顧客拡大	単価高い中型モーターは、パワーウィンドー用で新たに北米自動車メーカーの認証を上期中取得へ。採算改善狙う。中国工場の稼働は2月中にほぼ正常化。

マブチモーター(6592)

売上高・経常利益・当期利益の推移

